



5月 にこにご通信

令和3年5月1日
別府保育所地域子育て支援センター(別支)
058-326-2525
牛牧第2保育所地域子育て支援センター(牛支)
058-326-1515

新緑が映えるこどもの日に、青い空の澄んだ空気をおなかいっぱい吸い込んだこのぼりが泳ぎます。家族みんなでお子さんの健やかな成長と幸せをお祝いしながら、柏餅を食べたり、菖蒲の葉を入れた薬湯風呂に入ったりと、この日ならではの楽しさを味わうのもいいですね。

今年度がスタートしてはや1ヶ月経ちました。センターを初めて利用された親子さんも、先輩ママから「今何ヶ月ですか？」と声をかけられたことで少しずつ緊張がほぐれていく様子が伝わってきます。

スタッフとしても今後も、お子さんの関心に寄り添い、「〇〇遊びが大好きだね」「バイバイできたね」など何気ない姿を見逃さないようにして、お母さんとお子さんの成長と一緒に喜びあったり語り合ったりしていきたいと思っています。そして、皆様のお越しを心からお待ちしています。

《支援センター情報》

現在、別府保育所地域子育て支援センター、牛牧第2保育所地域子育て支援センターは開所していますが、今後の感染症の状況に応じて、臨時閉所や利用人数や事業内容が変更する場合があります。ご理解・ご協力をお願いします。(HP・ままフレ、広報などでご確認ください)

《利用時間・人数》

【施設開放時間】:要予約

1回目 10:00~11:30
2回目 13:00~14:30

別支:各回 10組まで
牛支:各回 6組まで

【子育て相談】

来所でも電話でも可
10:00~15:00
*来所の場合は、事前に電話連絡をしてください

《予約の申し込み方法》

【予約・キャンセル受付時間】

9:30~15:00(平日)

【予約方法】

- ・電話予約のみ
- ・利用希望日の前日又は当日に1回分の予約受付可。(希望日が週の最初の平日の場合は、前の週の平日の最終日と希望日当日)

5月の行事

(詳しい内容は直接電話などでお尋ねください)

《栄養士・保健師来所》

別支・・・13日(木)10:00~12:00
牛支・・・19日(水)10:00~12:00
○栄養士と保健師が来所します。子育てについてお気軽にご相談ください

《おもちゃ病院》 無料・予約不要

別支・・・14日(金)10:00~12:00
○壊れたおもちゃをボランティアのかたが無料で修理していただきます。お気軽にお持ちください
○感染予防の為、玩具はお預かりして、翌月のお返しとなります。ご了承ください
○おもちゃ病院の予約は不要ですが、そのままセンターで遊ぶことはできません。センター利用の場合は事前予約をしてください

《げんきっこタイム》 毎日

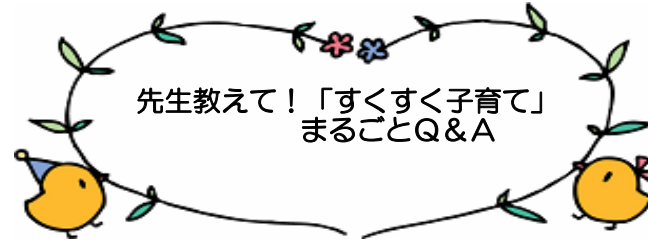
お帰りのほんの少しの時間ですが・・・
○体操・ふれあい遊び・手遊びなど体を動かして遊びます

《子育てセミナー》

・日時:5月26日(水)
10:30~11:30
会場:牛牧第2保育所支援センター
内容:「マイバック作り」(親子製作)
~僕(私)だけの
お気に入りのバックを作ろう~
対象:未就園児親子 先着6組
託児:なし
申込方法:直接センターへ電話で申込ください
申込期間:5月12日(水)~14日(金)
9:30~15:00

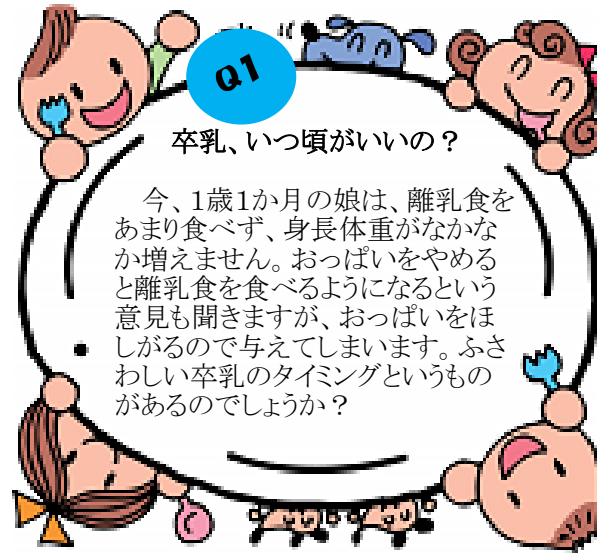
6月の予定

子育てセミナー
6月25日(金)
「子どもの歯について(講話と個別指導)」
~ピカピカ歯磨きのポイントは?~
6月30日(水)
「足形ペンギンの風鈴作り」
~チリーン・我が家の音色は日本一!~
*詳細は、6月広報、にこにご通信でお知らせします。



先生教えて!「すくすく子育て」まるごとQ&A

うちの子だいじょうぶ?
今回のテーマは、「おっぱいと食事」についてです!



Q1

卒乳、いつ頃がいいの?

今、1歳1か月の娘は、離乳食をあまり食べず、身長体重がなかなか増えません。おっぱいをやめると離乳食を食べようになるという意見も聞きますが、おっぱいをほしがるので与えてしまいます。ふさわしい卒乳のタイミングというものがあるのでしょうか?

A.1

離乳食を食べさせるではなく親も一緒に楽しく食事を

離乳食は、お母さんが一生懸命に食べさせようとするほど、逆にうまくいかない場合があります。まずは、お父さんやお母さんが子どもと一緒に楽しく食べることが大事だと思います~中略~子どもによって卒乳の時期は違いますが、できるだけ子どもが自然に離れる時期をゆっくり待ってあげてください
笠井靖代(日本赤十字社医療センター 産婦人科部長)



Q2

濃い味つけ、大丈夫?

2歳の娘が、大人のスナック菓子を食べて濃い味を覚えて以来、赤ちゃんせんべいなど薄味のものを食べなくなりました。濃い味に慣れてしまうのは、やはりよくないのでしょうか?

A.2

将来の病気のリスクを考えて家族全員で薄味に戻しましょう

やっぱり濃い味はおいしく感じるので、つい食べ過ぎてしまいますよね。でも一度濃い味を覚えると、味覚を戻すのはなかなか難しくなってしまいます。後々、生活習慣病のリスクが高くなる可能性もあるので、家族全員で薄味の食事にしてみてはいかがでしょうか。
加藤一彦(愛育病院 新生児科部長)



Q3

うちの子、食べる量が少ない?

現在1歳半の娘、7~8ヵ月頃から離乳食をあげはじめたのですが、99%ミルクしか受け付けてくれません。野菜、魚、肉...など全く食べず栄養面がとても心配です。

A.3

食事前は、お腹を空かせることと食べ物に興味を持たせて

家の中で過ごしているとミルクをほしがるので、日中は家から出て楽しい遊びを増やしましょう。食事の前はいろいろ欲しがっても根負けせずに、食事に興味を持たせることが大切です。「何ができるかな」と料理の様子を見せたりして食べるまでの気分を高めます。
太田百合子(管理栄養士 東洋大学)

